

知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム in 壬生 開催結果

1	日時	令和4(2022)年7月30日(土) 午後1時30分～3時23分
2	場所	壬生町役場 大会議室
3	出席者	参加者43名(男性25名、女性18名) 県側出席者：知事、総合政策部長、県民生活部長、政策企画監
4	発言数	9件(うちアンケート2件)



主な発言事項

No.	発言事項	関係部局
1	子育て中の女性の再就職への支援について (アンケート)	県民生活部、保健福祉部、産業労働観光部
2	返還不要の奨学金制度について (アンケート)	産業労働観光部
3	栃木への定住、移住促進の取組について	総合政策部
4	コロナ禍での大学生活のための支援について	総合政策部
5	コストコ周辺の道路整備について 下野スマートICの整備について	県土整備部
6	部活動への外部指導員の選定のための指針について	教育委員会事務局
7	コロナ収束後の高齢者の健康対策について	保健福祉部
8	学童保育への支援について	保健福祉部
9	「栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」後の各市町の取組状況について	環境森林部

知事と語ろう！とちぎ元気フォーラム in 壬生 発言及び回答要旨

区分	地域版	開催日	令和4(2022)年7月30日(土)
----	-----	-----	--------------------

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
1	子育て中の女性の再就職への支援について	アンケート1位 (壬生町50歳代女性)	子育て中の女性の再就職への支援について、どんな取組を県は行っているのか。	<p>回答者：知事</p> <p>再就職支援については、女性の皆さんの活動拠点であるパルティ（とちぎ男女共同参画センター）において、再就職に向けたスキルアップのためのパソコン講座（エクセル・ワード）や就職相談を定期的を実施し、女性の就労支援に取り組んでいる。</p> <p>また、「とちぎ女性・高齢者等新規就業支援事業」として、各市町において、少人数セミナーや個別相談などを実施し、就職活動に際するアドバイス等を行うことで、就業に向けた人材の掘り起こしを行っている。</p> <p>一方、企業を対象として、子育てなどにより労働時間に制約のある方が働きやすい職場環境の整備や、仕事の切り分け等の助言を行うなど、受入れ企業の掘り起こしも行っている。</p> <p>さらに、子育て中の女性への働く環境づくりへの支援については、休日保育や夜間保育等の多様な保育サービスに対応できる施設を増やしていくことが必要であると考えており、子ども・子育て支援制度において、休日保育や夜間保育などを実施する保育所等に対し、保育に係る運営費面での加算措置を設け、保育所等における休日保育等の実施の支援をしている。</p> <p>引き続き、保育の実施主体である市町と連携をしながら、子育て中の女性への働く環境づくり、再就職への支援に取り組んでいく。</p> <p>回答者：県民生活部長</p> <p>パルティは今年26年目を迎える。女性の再就職に向けたスキルアップのためのパソコン講座等をぜひ積極的に活用してもらいたい。</p>	<p>県民生活部</p> <p>人権・青少年男女参画課 (男女共同参画担当) TEL3074</p> <p>産業労働観光部 労働政策課 (雇用対策担当) TEL3224</p> <p>保健福祉部 こども政策課 (子ども・子育て支援班) TEL3063</p>
2	返還不要の奨学金制度について	アンケート2位 (壬生町60歳代男性)	大学進学に係る学費も多額であるので、栃木県内に就職すると、返還不要の奨学金制度を作ってほしい。	<p>回答者：知事</p> <p>県では、県内企業への就職促進と県内定着を図るため、奨学金を受けている大学生等を対象とし、卒業後に県内の製造業、卸売・小売業、情報通信業、宿泊業の企業へ就職した場合に、奨学金返還の助成を行う「とちぎ未来人材応援事業」を実施している。</p> <p>この事業は、就業状況を確認した上で8年かけて最大150万円を助成するものである。</p> <p>支援対象となる奨学金は、日本学生支援機構や栃木県育英会の奨学金など、貸与型の奨学金であれば幅広く対応しているので、既存の貸与型奨学金を利用していただいた上で、本事業の返還支援を活用していただきたい。</p> <p>特定業種以外への就職が対象とならないのは、企業から仰いだ寄付を基金として積み立てたものを原資としているためであり、業種を限定した上で、奨学金返還の支援制度をつくっている。</p> <p>その他に個人が創設した返還免除の奨学金も用意されているが、事前の審査を通過する必要がある。</p> <p>大学進学にかかる奨学金の返還については、民間の育英会の奨学金で返還不要という制度、あるいは特定業種へ就職した場合に返還助成を行う「とちぎ未来人材応援事業」の2つの制度があるので活用していただきたい。</p>	<p>産業労働観光部 労働政策課 (雇用対策担当) TEL3224</p>

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
3	栃木への定住、移住促進の取組について	宇都宮市 50歳代男性	企業と転職希望の人材を結びつけるビジネスを行っているが、せっかく栃木県で就職した人が、栃木から出たい、首都圏等に戻りたいという声を聞くことがあり残念だ。 転出の理由として、栃木県には魅力があまりないといったことが挙げられている。最近ではLRTやコストコなど魅力も増えていると思うが、栃木への定住・移住促進のための県の取組を伺いたい。	発言者：知事 本県は、東京圏に近接し、多彩な産業が集積しているとともに、豊かな自然や文化・食などにも恵まれるなどの長がある。 移住してきた方に住んで良かったと思ってもらい、多くの方に定住してもらえることが重要であるが、定住していただくためには、職や住まいが重要であることから、移住・定住促進サイト「ベリーマッチとちぎ」において、本県で働く魅力や空き家バンクに係る情報の充実を図っているほか、市町による東京圏への通勤通学助成や住居への助成などの支援情報についても積極的に発信している。 また、定住の促進に加え、外から人を呼び込むための施策として、移住等に興味・関心を有する東京圏の若年層にターゲットを絞ったデジタル広告を配信するとともに、4月からは都内相談窓口「とちぎ暮らし・しごと支援センター」の相談員を増員するなど相談体制を強化している。 県としては、県内に就職した方が、県外に流出しないよう、市町と連携しながら様々な取組を通じてとちぎで暮らし、働く魅力をさらに発信していきたい。 県外から県内に来て本県の良さを発見する人もいれば、ずっと栃木県にいてこんなところ嫌だという人もいると思うので、栃木県民にとっても自慢できる「とちぎ」を皆さんとともにつくってきたい。	総合政策部 地域振興課 (地域振興・移住促進担当) TEL2233
4	コロナ禍での大学生生活のための支援について	真岡市 50歳代女性	大学生や大学を卒業した子どもがいるが、周囲には、コロナ禍において学生生活に制約があったり、経済的に困窮して大学を退学してしまう学生が多かった。 高校までは補助があったり医療費が安くなったりが、大学になると制度は少なく、奨学金の返済のため他から借金する事例もある。 コロナ禍において、これからの子どもたちが大学に行きやすい環境をつくっていただきたい。	回答者：知事 県は、19の高等教育機関が加盟する「大学コンソーシアムとちぎ」において、定期的に意見交換を行っている。 今後、学生生活が継続できない状況になっていくようなことがあれば、意見交換等の場を通じて、学生の個々の生活実態に応じ行政として応援できることを考えたい。 コロナ禍で独自に支援策を行った大学もあり、大学でできること、行政でやるべきことをしっかり役割分担しながら、有能な人材が挫折しないよう支援していきたい。	総合政策部 総合政策課 (政策調整・地方分権担当) TEL2209
5	コストコ周辺の道路整備について 下野スマートICの整備について	壬生町 70歳代男性	コストコの開店により、周辺の道路交通事情が一変し苦情等が寄せられている。 県道羽生田上蒲生線の拡幅及び北関東自動車道の下野スマートIC整備について県の考えを伺いたい。	回答者：知事 本路線は交通量が多く、東武宇都宮線跨線橋部を中心に慢性的な渋滞が発生していたところであり、栃木街道から下野市境までについて、右折レーン設置や姿川に架かる関沢橋前後の4車線化などの道路の拡幅事業に着手し、用地取得を進めているところである。 また、本路線沿線では、土地区画整理事業の実施に加え、大型商業施設が相次いで開業しており、更なる交通需要の増加が見込まれることから、今後とも、町や地元の協力を得ながら、事業を推進していく。 一方、「とちぎわんぱく公園」に直接乗り降りできる壬生PAへのスマートICと、壬生ICと宇都宮上三川ICの間の下野スマートICについて各市町で整備に向けた準備を進めているところである。 下野スマートICについては、用地取得の難航により、事業が大幅に遅れており、完成の見通しは立っていないが、市、県一体となって地権者への協力依頼を進め工事に結びつけていきたい。 壬生PAへのスマートICについても国の準備段階調査箇所にて採択されるよう町を支援していきたい。 この2つのスマートICができれば、交通の分散が可能となるので、一刻も早く地域の皆さんに安心していただけるようしっかり役割を果たしていく。	県土整備部 都市整備課 (街路担当) TEL2476 道路整備課 (整備計画担当) TEL2412 交通政策課 (道路計画担当) TEL2409

No.	発言事項	発言者	発言要旨	県回答要旨	関係課名(担当)
6	部活動への外部指導員の選定のための指針について	壬生町 40歳代男性	コロナ禍で部活動の活動制限があった際に、施設の利用や指導員の報酬に地域間の格差があった。地域で報酬を決めると高額な地域に優秀な指導者が集まってしまう。 外部指導員の導入の際には、施設利用の制限や報酬等を定める要綱について検討いただき、地域間格差がないようにしてほしい。 また、外部指導員を導入する際に、実績や技術ばかりでなく、子どもへの接し方なども重視するよう検討してほしい。	回答者：知事 教員の働き方改革により、部活動は地域に移行し、外部指導員を配置するなど教員の負担軽減のための支援を行う方針である。現在はモデル校として県内の一部の学校で行っており、当該、国庫事業による指導者謝金の補助対象限度額(1,600円)は基本的に変わらないはずである。 外部指導員の導入の際には、報酬の基準を設けることや外部指導員であったとしても学校施設を使用することで競技力の向上につなげ、強いチームに育てられるような環境を整えることが必要である。 県教育委員会として、各市町の取組を確認し、情報共有を行った上で、学校施設の利用や外部指導員の報酬などに大きな差が生まれないような仕組みづくりを、県が調整役となってしっかりやっていきたい。 今後、外部指導員が部活の指導をするという流れは変わらないが、先生がどこまで関わるのか、子どもたちの意欲を削がず教育につなげていくことが理想であるので、各市町とも連携し協議を進めていきたい。	教育委員会事務局 義務教育課 (指導担当) TEL3392 スポーツ振興課 (競技力向上対策室) TEL3415
7	コロナ収束後の高齢者の健康対策について	壬生町 70歳代男性	コロナ禍において生活が様変わりし、先の見通しがつかない中で、多大な影響を受けている高齢者は収束後の生活に不安を感じている。 感染が落ち着いた際に高齢者が元の生活に戻れるようにするため、県として考えている支援を伺いたい。	回答者：知事 他県では病床使用率上昇により高齢者へ行動制限をかけている自治体もあり、本県も病床使用率が50%を超えた場合、高齢者の感染防止のため行動制限等も検討していかなくてはならない。 だが、高齢者へ自宅待機といった行動制限をすることで感染のリスクは減るが、運動不足等の理由から別のリスクが生まれ、健康面に問題が生じてしまう可能性がある。 県としては、コロナの感染を予防し、健康も害さない対策を講じることが喫緊の課題となっている。 例えば、高齢者向けのテレビ体操など、家や近所の公園で運動ができる機会を設けるなど、健康の保持・増進と感染防止を両立できる対策を速やかに考えていきたい。	保健福祉部 感染症対策課 (新型コロナ対策推進担当) TEL2833 健康増進課 (健康長寿推進班) TEL3094
8	学童保育への支援について	壬生町 60歳代女性	学童保育への県の支援について伺いたい。	回答者：知事 県では、学童の施設整備費の補助を行っており、また、支援員の人件費を含む運営費の補助も行っている。 運営内容については各市町で支援することで、県と各市町で役割を分担している。	保健福祉部 こども政策課 (子育て環境づくり推進担当) TEL3068
9	「栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」後の各市町の取組状況について	壬生町 70歳代男性	令和元年8月27日の「栃木からの森里川湖プラごみゼロ宣言」後の各市町の取組状況や他市町で立ち上げている団体について伺いたい。	回答者：知事 森里川湖プラごみゼロ宣言後、宇都宮市では市本庁舎から排出されるペットボトルのリサイクルに係る民間企業との協定締結、上三川町では会議やイベントでのペットボトル飲料の配布の原則禁止、那須塩原市では生分解性ストローの実証試験などを行っている。 また、壬生町以外の市町で立ち上げている団体は、県ホームページにおける「栃木の森里川湖清掃活動等ポータルサイト」に掲載されている18団体を把握しており、各団体とも河川や道路などの清掃活動に取り組んでいる。 「壬生町の環境保全とプラごみゼロの会」におかれては、県が今年5月に壬生町で開催した「スポGOMI大会」に参加いただくなど、日頃から熱心に自然環境保全活動に取り組んでいただき感謝している。 個人的にも環境美化活動を行っている方は大勢いるし増えている印象がある。国体に向けてはもちろんだが、国体後も継続されるよう率先垂範していきたい。県職員も県庁周辺のゴミ拾いなど実施しており、今後も目に見える活動をしっかり行っていきたい。 これからも県のプラスチックごみ削減に向けた各種取組等への御理解と御協力をお願いしたい。	環境森林部 資源循環推進課 (企画推進担当) TEL3228